

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどのひらがなや読み書きできるようになった児童が多い。促音、長音、拗音、助詞などの使い方に誤りがある児童がいる。 語彙の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく読む、書くことよさに触れさせ、全体で確認するだけでなく、個別支援を積み重ねていく。 促音や長音については、体の動きを取り入れながら繰り返し指導していく。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや担任に自分の体験などを話すことが好きな児童が多い。一方で、最後まで聞く、内容を落とさずに聞くなどの力は、不足している。 読むことに関する考えの形成が見えづらいところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認のため、話したことを児童に聞く際には、ナンバリングをし、キーワードを押さえ、内容を正確に聞きとっているかを評価していく。 ワークシートやノート、テストだけで評価するのではなく、学習前後に考えがどう変化したかを見られるよう、学習過程を工夫する。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを楽しみ、読書に親しむ児童が多い。 物語文などでは、登場人物の気持ちに入り込み、楽しんで学習に取り組める児童が多い。 自分の考えを意欲的に発表する児童と、そうでない児童の差が出始めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書や市の図書館と連携し、読書環境を充実させていく。単元のねらいに応じた並行読書を積極的に位置づける。 自分の言葉で楽しみながら発表したり書いたりする経験を重ね、互いに交流する学習活動を取り入れる。
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 指やブロックを用いて計算を行う児童もいるが、繰り上がりや繰り下がりのない計算は、概ねできるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業及び朝学習の時間にプリントや計算カードを使い、繰り返し習熟させる時間を確保する。 日々の宿題で復習させ、定着を図る。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 文章題の意味を理解し、正確に式を立てることができるようになってきた。 場面や式に合わせた文章題を作ることができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や図を用い、文章題の意味や場面を具体的にイメージさせ、自分で考える時間を設ける。 友達と考えた問題を、互いに解き合う学習経験を積ませる。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> 算数の学習を楽しみにし、進んで問題に取り組もうとする児童が多い。 1度思考が途切れると、集中して課題に取り組めない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の学習に対する達成感が感じられるよう、スモールステップの学習過程を組む。 間違いから学ぶ指導を行っていく。
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や体験をもとに調べ学習を行い、似ている所や違いに気付いた結果、興味関心の幅が広がってきた児童が増えていた。 入学前の経験の差や、手先の器用さに個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真絵本や図鑑から得た知識を共有できるよう、年間を通し、学校司書や市の図書館と連携し、学習環境を整える。 指先を使った活動を意図的に取り入れる。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 体験をもとに、自分なりに考えたり工夫したりすることを表現する力は、まだあまり育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもった活動や目的意識をもたせた活動を計画し、自分なりに気付いたことを書いたり発表したり交流し合う場を設ける。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人や自然と関わりながら、意欲をもって積極的に活動する児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に育て関わる活動を取り入れることで、身の回りの自然や人を大切にし、そこから得た気づきを次の学びに活かせるよう、価値付けていく。
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 初めての曲も楽しんで歌う児童が多い。 鍵盤ハーモニカの練習も意欲的に取り組む児童が多いが、音の長さが正しくとれなかったり、タンギングがうまくいかなかったりと、苦手意識をもつ児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や行事の歌を取り入れ、毎時間楽しんで歌えるようにしていく。 個別指導を充実させ、少しずつでも積み上げていけるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 入学前(幼稚園や保育園、様々な家庭環境など)の音楽に触れる機会に、個人差がある。 表現力の個人差も大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を通して、色々な楽曲や歌い方、楽器に触れる機会を作っていく。 全身を使った身体表現の機会を設ける。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> 歌いながら体全体で表現するなど、楽しんで活動している。 鍵盤ハーモニカなどは個人差があり、演奏に消極的な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカの演奏だけでなく、身近な楽器を取り入れ、苦手意識をできるだけ減らし、楽しんで音楽活動ができるようにする。

図画 工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園での経験、家庭環境によって、技能面で個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能の活動を単発にせず、繰り返し行うことで、確実に習得させる。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で思いついたり、想像したりすることに苦手意識をもつ児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材とよく関わり、試行錯誤しながら手を動かすことでイメージを膨らませ、制作する時間を多くとる。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びを含め、意欲的に活動に取り組もうとする児童が多い。 ・1つの作品が完成するまで、じっくりと取り組めない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲をもつ題材を扱い、想いが膨らむような言葉掛けをする。 ・制作の途中も含め、互いの作品の良さを感じとり、伝え合う機会を設ける。
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこやなわとびなどで基本的な運動遊びができるようになってきた。 ・運動のイメージがもてず、自分の体を上手に操作することができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のイメージや運動の感覚を育てるために、様々な体の動きを経験させる。
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で運動を工夫したり、自分に合った運動遊びの場を選んだりする経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫した動きをしている児童を称賛し、互いのよさを伝え合う場を設ける。 ・自分の力に合った場を選べるよう、実態に合わせた場の設定をする。
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きな児童が多い。 ・準備や片付けを協力して行う姿が見られる。 ・決まりを守り、安全に気を付けて活動しようとする児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味を高める活動の場を工夫する。 ・授業規律や用具の準備、片付けの方法や必要性を繰り返し指導する。 ・安全指導を継続して行う。